



平成 24 年 4 月 27 日

各 位

会 社 名 大平洋金属株式会社  
 代 表 者 代表取締役社長 東 洋幸  
 (コード番号 5541 東証・大証 第 1 部)  
 問合せ先 取締役専務執行役員 庭山 隆夫  
 (TEL 03-3201-6681)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 24 年 2 月 7 日に発表した平成 24 年 3 月期通期（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）の連結業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

## ●業績予想の修正について

## 1. 平成 24 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 24 年 2 月 7 日発表)	百万円 46,208	百万円 △1,591	百万円 1,515	百万円 △116	円 銭 △0.59
今回修正予想 (B)	48,287	153	3,524	1,175	6.02
増 減 額 (B-A)	2,079	—	2,009	—	
増 減 率 (%)	4.5	—	132.6	—	
(参考)前期実績(平成 23 年 3 月期)	74,786	18,494	20,767	11,261	57.66

## 2. 修正の理由

連結業績予想については、海外経済の失速及び長引く円高並びにイラン情勢緊迫化等による原油価格の高騰等、当社グループを取り巻く事業環境はネガティブ要因が多く、経済活動は停滞基調ではありますが、アジア新興国等においては高経済成長の鈍化は見られるものの、底堅く経済成長を継続していること等により、第 4 四半期においては、フェロニッケル製品は一定の需要を維持し概ね好調に推移し、一方で、当社フェロニッケル販売価格の指標となる LME ニッケル価格は、依然、先行きニッケル供給過剰の見方はあるものの、米国経済の緩やかな回復等が好材料となり、堅調な推移となりました。

そのため、平成 24 年 2 月 7 日に発表しました連結業績予想を上記のとおり修正しました。

尚、前提条件に関しましては下記（参考）前提条件の修正をご参照ください。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## (参考) 前提条件の修正

	販売数量(T/Y)			適用 LME ニッケル価格(\$/lb)			適用為替(¥/\$)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
前回発表予想 (平成 24 年 2 月 7 日)	8,644	18,892	27,535	10.41	8.86	9.35	78.59	75.61	76.55
今回発表予想	8,644	19,306	27,950	10.41	9.02	9.45	78.59	77.86	78.08
(参考)前期実績 (平成 23 年 3 月期)	20,430	17,036	37,466	9.74	10.61	10.14	88.74	82.53	85.92

以 上